

田人林業研究会が「林業研究グループ等活動発表会」で知事賞を受賞

2月10日(水)、福島県林業研究センターにおいて福島県林研グループ連絡協議会が主催する「林業研究グループ等活動発表会」が開催されました。

この発表会は、県内各地で森林・林業に関する技術・知識の習得に努めている林業研究グループ等の活動を一般県民に紹介することを目的に毎年開催されており、今年は、県内各支部から8グループが発表を行いました。



いわき管内からは田人町の田人林業研究会の緑川平隆さんが「田人林研の森林づくり」と題して発表しました。

田人林業研究会では、未来の田人の森林づくりを見すえ、山積する森林・林業の諸問題解決に取り組んでおり、平成21年度は「吸収源対策支援事業」を利用するなど、地元森林所有者への戸別訪問やアンケート調査、間伐研修会や林業労働安全講習会の開催、他県の先進的林研グループの視察など地域の林業を発展させる「環境づくり」と、地元田人中学校の生徒を対象にした森林環境体験学習への支援による「人づくり」の二つをキーワードに設定して活動を行っており、審査の結果、最優秀賞の福島県知事賞を受賞しました。

今後は、平成22年度に宮城県で開催される東北・北海道ブロック林業グループコンクールに福島県代表として出場します。

「いわき農業普及推進懇談会」を開催

2月16日(火)、県いわき合同庁舎において「平成21年度第2回いわき農業普及推進懇談会」を開催しました。

この懇談会は、農業関係者に農業普及指導活動の実績と次年度の普及計画を説明し、意見をいただくもので、年2回開催し、普及指導活動に反映させてきました。



(懇談会の様子)

今回の懇談会では、担い手育成、地産地消、有機農産物の推進などに対して、様々な意見をいただき、その内容を平成22年度からの普及指導計画に活かしていくこととしております。

「フレッシュ農業ガイド講座」を開催

2月22日(月)、県立磐城農業高等学校園芸科の1年生40名を対象に「フレッシュ農業ガイド講座」を開催しました。

この講座は、青年農業者による事例発表やフラワーアレンジメント実習を通して、農業生産と販売現場について学び、就農の動機付けを図ることを目的としています。



(農業青年クラブ会員による事例発表)

はじめに、いわき農業青年クラブ連絡協議会の助川成光副会長、折笠明憲事務局長

から現在の取り組み状況、就農動機及びニュージールランド海外農業研修に参加した経験等について、事例発表をしていただきました。



(フラワーアレンジメント実習)

引き続き、花き販売現場の観点から行ったフラワーアレンジメント実習では、「きむらみやこフラワースタジオ」の木村美也子代表らの指導のもと、バラ、カーネーション、スイートピー等を使ったアレンジメントを行い、切り花の販売について学習しました。

今回の講座を通して、生徒達は農業の魅力や可能性に興味を示し、将来の職業選択肢の1つに農業を含めることを考え始めたようでした。



「第2回女性農業者育成セミナー」を開催

2月23日(火)、いわき市中央台公民館を会場に「第2回女性農業者育成セミナー」を開催し、市内で直売・加工に取り組む農業者約20名の参加がありました。

このセミナーは、女性農業者等が地場農産物の活用について理解を深め、アグリビジネスへの発展に役立てることを目的としています。



(調理実習の状況)

今回の食材は、米の消費拡大を図る上で今注目されている「米粉」を取り上げました。

はじめに、普及指導協力委員の大町達夫氏を講師に、米粉入りカレーうどんなどの調理実習を通して「米粉」の多様な使い方を学んだ後、いわき市における米粉普及推進の動きについて、いわき農林事務所から情報提供を行いました。

参加者は、興味深く研修に取り組んでおり、「米粉」に対する関心やアグリビジネスへの意欲がうかがえました。



「農業普及指導外部評価懇談会」を開催

いわき農林事務所では、効果的な農業普及指導活動を展開するため、農業関係者以外の外部有識者を委員とする「外部評価懇談会(会長 東日本国際大学教授 大川信行氏)」を設置して、農業普及活動等に対する評価・提言をいただき、普及指導活動に反映させてきました。

2月23日(火)に県いわき合同庁舎で開催した「平成21年度第2回農業普及指導外部評価懇談会」において今年度の評価対象課題である「いわきの農業を支える担い手育成」について、目標の達成度や普及指導員の役割に対する、質疑応答を行いました。

今後、委員の方々からの意見等を取りまとめた外部評価結果報告書をいただき、これに基づいて改善計画を策定し、より一層効果的な普及指導活動を行うこととしております。



(第2回外部評価懇談会)



「第2回有機農産物生産者交流会」を開催

2月24日(水)、県いわき合同庁舎において「第2回有機農産物生産者交流会」を開催しました。この会議には、市内で有機農産物を生産している農家や、有機農業に興味のある生産者20名が参加しました。

はじめに、会津美里町を中心に有機農産物の宅配や消費者とのふれあい活動を行っている『会津自然塾』会長の鹿野義治さんから活動を通してできたグループの強みや、

活動の幅の広がりについて事例発表をしていただきました。

次に、福島県農業総合センター有機農業推進室の小澤室長より、有機水稻栽培における雑草対策などの新しい技術について紹介していただきました。



その後の情報交換会では、「地産地消として有機農産物をいわき市民に販

(会津自然塾 鹿野氏 講演)

売したい」、「技術や販売などテーマ別の研修会を実施してほしい」、「有機認定を取りたい」などの積極的な意見が出されました。

いわき農林事務所では、今後も有機農産物の生産技術の向上や地産地消の推進のため、継続的に交流会や研修会を開催し、有機農業を応援してまいります。

「ふくしま食と農の絆づくり運動」いわき地方推進本部会議を開催

2月26日(金)、県いわき合同庁舎において、平成21年度「ふくしま食と農の絆づくり運動」いわき地方推進本部会議を開催しました。

この会議は、いわき地方における「ふくしま食・農再生戦略」の具体的な取り組み内容の検証や「うつくしま農業・農村振興プラン21」いわき地方計画の進行管理などを目的としています。

いわき農林事務所長のあいさつに続き、平成21年度における「ふくしま食と農の絆づくり運動」の推進にかかる取り組み状況、いわき地方における特徴的な取り組み事例や平成22年度の取り組み案について、事務局から説明し、審議が行われました。

併せて、「福島県新たな農林水産業振興計画」の概要及びいわき地方の振興方向について説明を行い、計画の周知等を図りました。

いわき農林事務所からのお知らせ

◎ 講演会(仮称)「高性能機械を導入した森林施業における安全管理について」

期日: 3月19日(金) 13:30~16:30 会場: パレスいわや

◎ グリーンフォレスター認定書交付式

期日: 3月26日(金) 10:00~ 会場: 県いわき合同庁舎

◎ 平成22年度いわき地方防霜対策会議

期日: 3月29日(月) 13:30~14:30 会場: 県いわき合同庁舎
南分庁舎3階中会議室

◎ 平成22年度田んぼの学校開校式

期日: 4月下旬 会場: いわき市立夏井小学校

◎ NPO法人「いわきの森に親しむ会」

理事長 松崎和敬氏が林野庁長官賞を受賞しました!!

5月23日(日)神奈川県秦野市で開催される全国植樹祭で表彰される予定です。

◎ 皆様からのご意見・情報をお待ちしております。

福島県いわき農林事務所 企画部 地域農林企画課

〒970-8026 いわき市平字梅本15番地 Tel (0246)24-6197 Fax (0246)24-6196

URL <http://www.pref.fukushima.jp/norin-iwaki/>

E-Mail iwaki.nourin@pref.fukushima.jp



iwaki.nourin@pref.fukushima.jp